

諏訪瀬島への離島巡回診療をおえて

クオン サンホ

私は2012年5月11日から13日まで、2泊3日の日程で、諏訪瀬島での離島巡回診療に同行させて頂きました。去年も参加を希望しましたが、抽選で選ばれず、今年は念願の離島巡回診療同行実習に参加することができました。

鹿児島大学の受験のために、いろいろ情報を調べたとき、鹿児島大学には離島実習があることを分かりました。そして機会があればぜひ参加したいと思っていましたが、6年生になって、現実になりました。今回は小児歯科、冠橋ブリッジ科、歯科放射線の先生、および歯科衛生士2人とともに参加することになりました。

諏訪瀬島は人口が60人くらいの小さい島で、鹿児島からはフェリーに10時間乗ってからこそ行ける遠い島です。私たちは夜11時30分の便を乗って出発しましたが、遅い時間であるにも関わらず、他の先生達の見送りもありまして、私は鹿児島を離れる長い旅にたつような気がしたり、船の上で手を大きく振るのが恥ずかしかったりしながらも、だんだん小さくなる港口の光がきれいだったり、エンジンが噴出す水の音がなんか楽しかったりして複雑な気持ちで出発しました。

翌日10時私たちは諏訪瀬島に到着し、民宿で急いで荷物を片付け、着替えも済ませた後に、診療のための準備を始めました。‘こじか号’には診療に必要なものが沢山入っていて、ある程度以上の診療は問題なく行うことができると聞きました。

準備が終わった後、診療が始まり、私は先生の診療をアシストすることになりました。まずは、健診をした後に、健診の結果、治療が必要とされる子供はX線写真を撮り、保護者の方に説明した後に治療が始まりました。私は、島の子供たちに虫歯が多いだろうと、勝手な予想をしていましたが、実際はきちんと管理されていて治療が必要な子供は少なかったのが印象的でした。後で聞いた話で、島に住んでいる看護師さんの努力と離島診療のおかげで、しっかり歯の健康を管理されてきたことが分かりました。一方、‘こじか号’では、成人の方の診療をがなされていました。バスの中は広くはありませんが、充分診療できるスペースがあり、大学で使用しているチェアと同級のチェアが置いていました。

そして午後5時には1日目の診療が終わり、島を散歩する時間がありました。諏訪瀬島の海は本当にきれいで、島は緑に囲まれて、その中には学校があって、そのグラウンドでは、ある家族が楽しいようにミニ野球試合をしていました。その隣を散歩することはすごく気持ち良い経験でした。

次の日の朝、私は鹿児島に帰るためのフェリーにのりました。諏訪瀬島にいた時間は1日でしたが先生たちは私たちが帰った後にも島に残って診療をしました。そのような先生達の努力で離島に住んでいる方達の健康が守られているだろうなと思いました。今回の実習は私にとって、先生たちと、島の人々と触れ合うことができ、また、離島診療の見学もできて、

貴重な経験になりました。この経験を生かして、社会に貢献できる歯科医師になれるよう頑張ります。離島巡回診療に参加させて頂いてありがとうございました。